



神 学 校 だ よ り 10 月 号

【か】よくかんがえ 【な】なかよく 【が】がんばる 【わ】わたしたちかなっ子

神奈川小公式WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kanagawa/>

令和8年 9 月 30 日

横浜市立神奈川小学校

「成長」

校長 足立 渉

防災備蓄庫近くに柿の木が植わってます。たくさん柿の実がなる大木でもなく、本当に慎ましい数の実がなる柿の木です。その存在に昨年度私もようやく気付いたくらいです。学校ホームページにも書いていますが、その柿の木に実がなり、少しずつ色づいています。その様子を見て、秋になったと実感しています。では皆さん、唐突ですが柿を詠んだ句と言えど何を想起されますか？たぶん多くの方が正岡子規の「柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺」を思い浮かべるのではないのでしょうか。私が小学校の頃は4年生の国語の教科書に載っていて、何度も暗唱した記憶があります。（現在は6年生の教科書に載ってます。）ただ、あまりにも有名かつ、CM 等でいろいろとパロディとして替え歌にされていたので、その頃は全くよさが分かりませんでした。「こんなの俺でも作れる!」と「梨食えば鐘が鳴るなり東大寺」等、茶化して調子に乗っていた記憶があります。しかし歳を取るにつれてこの句のすばらしさを感じるようになりました。それは「郷愁」を誘うようであり、「わびさび」を感じるようであり、「情景」を感じさせるようでもある、しみじみと名句なのだと思います。**これは成長を表しているのでしょう。**



さて、先日校長室に1年生の女子2人が遊びに来ました。連日雨降りだったため、教室での遊びにも飽きたのでしょうか、ひょっこり校長室に来ました。そして、一人の子が飾られている写真を見て「ここに写っている人は誰？」と聞いてきました。「歴代の校長先生の写真だよ。」と教えると、前任の田名部校長先生の写真を指しながら「ええ、今の校長先生の前は女の校長先生だったんだ。」「優しいよね。」「次は女の校長先生はだったらいいね」と、2人で話し始めました。

この人事等で微妙な時期になってことを言うんだ!という私の悲しい気持ちが顔に出ていたのでしょうか？こちらの顔を見て「あ、でも今の校長先生もいいよ。」「優しいよねえ」と、隣に相槌を求めました。隣の子も「そうそう。今の足立校長先生【で】いいよ。」と…。私は心の中で「今の校長先生【が】いいよ」ではないんだと嘆いていました…。でもこのやり取りを振り返り考えてみると、1年生の子も4月から立派に成長したなと思いました。自分の言った一言で、他者（この場合は校長ですが）がどう感じたのかを察し、瞬時にフォローに入る。（多少助詞の使い方に寂しさを感じますが）そのフォローを感じ、瞬間的にもう一人もカバーに入る。集団の中で生活する上でみんなが気持ちよく生活するためには、そうした心遣いが必要なきもあります。今回の私とのやり取りがその時かどうかは別として、こうした他者の気持ちを慮った言動がとれた姿に、**その子らの成長を感じました。**

今月はスポーツフェスティバルがあります。4月からの「**かなっ子**」の**成長**を見て頂く大切な行事です。各学年一生懸命に練習しています。当日は子どもたちの頑張りに大きな拍手・声援をお願いします。また高学年はスポフェスを支える係活動もあります。演技や競技だけでなく、そうした行事を運営する姿もしっかりと応援していただければと思っております。今月もよろしくお願いいたします。